

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	花村産業株式会社					
代表者名	氏名	花村 泰年	役職名	代表取締役		
主たる事務所の所在地	長野県松本市庄内2-5-47					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	23 非鉄金属製造業				
主たる事業の概要	アルミニウム二次合金製造、鉄・非鉄金属製品加工・販売、鉄・非鉄金属原料取扱					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	1,816	1,761	1,707	1,935	1,805
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	3,729	3,617	3,499	3,980	3,692
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	7,075	6,862	6,119	7,253	6,576
自動車の台数	台	47		47	48	48
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	355				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020 年度～	2022 年度
------	----------	---------

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

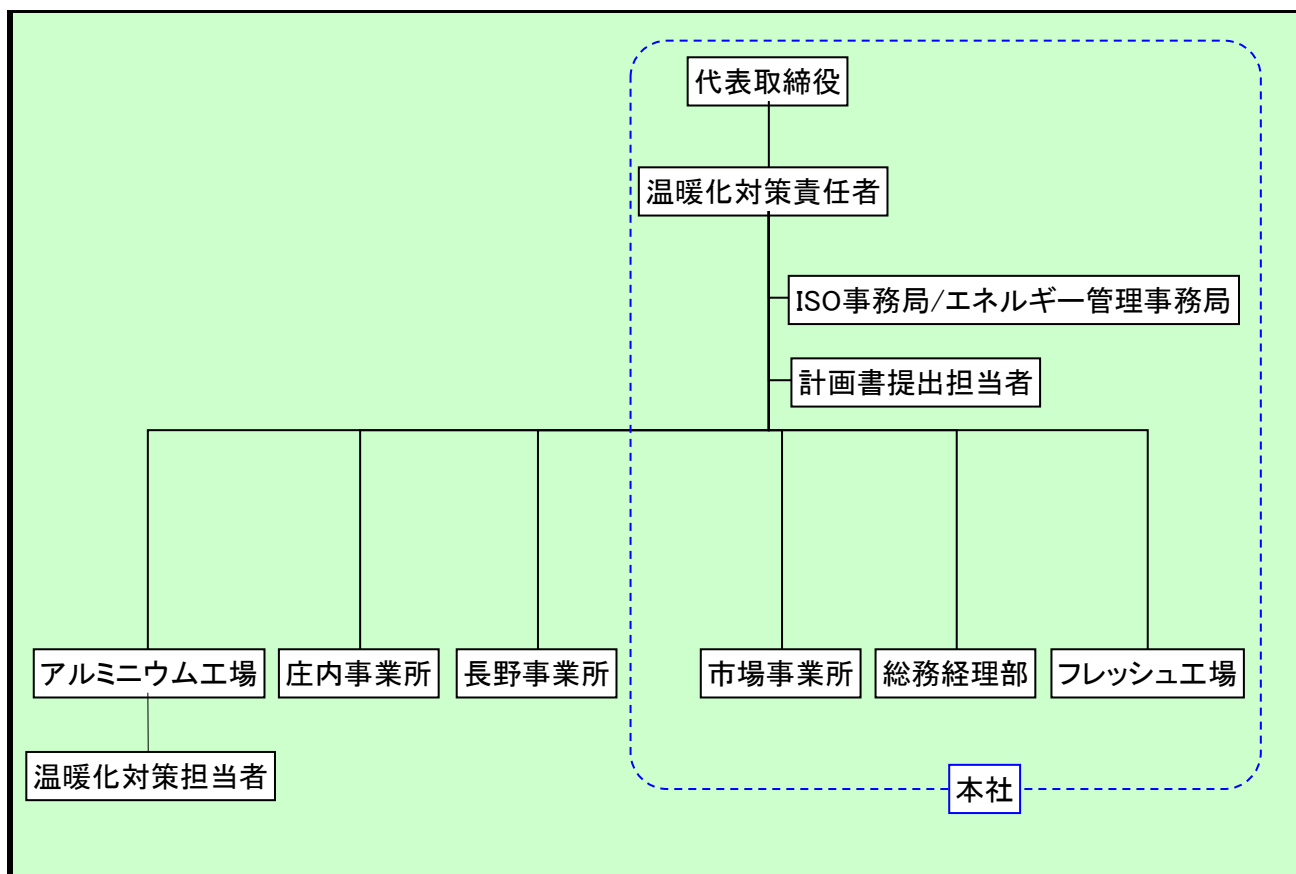
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	場 所 本社 総務経理部（長野県松本市市場5-26） 連絡先 0263-27-1850（代表） 閲覧時間 通常稼働日の8：25～17：25
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

IS014001活動の一環として、エネルギーの削減・管理を実施する。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

ISO代表者会議 (年4回)

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	3,729	t-CO ₂	生産数量	22.30	単位	千t
2019年度	調整後排出量	3,729	t-CO ₂	基準原単位	167.22	t-CO ₂ /	千t
目標年度	目標排出量	3,617	t-CO ₂	目標原単位	162.20	t-CO ₂ /	千t
2022年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	省エネ法のエネルギー原単位削減目標に合わせ、年平均1%、3年間で3%の削減を目標とする。なお、原単位の指標には、最も排出量の多いアルミニウム工場の生産数量を使用する。						
第一年度	排出量	3,499	t-CO ₂	生産数量	18.72	単位	千t
	削減率	6.16	%	原単位	186.91	t-CO ₂ /	千t
2020年度	調整後排出量	3,499	t-CO ₂	原単位削減率	-11.78	%	
	削減率	6.16	%				
排出量等の増減理由	アルミニウム工場において、設備更新のため約1か月間生産を休止したことにより、生産数量が前年比で約16%減少し、二酸化炭素排出量も削減された。しかし、設備更新後の試運転等によりエネルギー効率が悪化したため、原単位での削減はできなかった。						
第二年度	排出量	3,980	t-CO ₂	生産数量	22.82	単位	千t
	削減率	-6.74	%	原単位	174.41	t-CO ₂ /	千t
2021年度	調整後排出量	3,980	t-CO ₂	原単位削減率	-4.30	%	
	削減率	-6.74	%				
排出量等の増減理由	アルミニウム工場での生産数量が基準年度比で2%増加したことに加え、溶解炉の稼働時間が4%増加したため、排出量、原単位共に数値が悪化してしまった。						
第三年度	排出量	3,692	t-CO ₂	生産数量	20.27	単位	千t
	削減率	0.99	t-CO ₂	原単位	182.14	t-CO ₂ /	千t
2022年度	調整後排出量	3,692	t-CO ₂	原単位削減率	-8.93	%	
	削減率	0.99	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	アルミニウム工場の溶解炉2基のうち1基を設備更新のため約2.5か月生産を休止したことにより、生産数量が基準年度比で約9%減少し、二酸化炭素排出量も削減された。しかし、片方の炉のみ稼働時のエネルギー効率が悪く、原単位での削減はできなかった。						

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	7,075	t-CO ₂	生産数量	22.30	単位	千t
2019年度	調整後排出量	7,075	t-CO ₂	基準原単位	317.26	t-CO ₂ /	千t
目標年度	目標排出量	6,862	t-CO ₂	目標原単位	307.74	t-CO ₂ /	千t
2022年度	目標削減率	3.01	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	非エネルギー起源の温室効果ガスは再生油（廃油）の燃焼によるもの。再生油を使用しているのはアルミニウム工場のみであり、生産量の増減によって総排出量も変化する。生産工場であることから、総排出量はあくまで目安とし、主に原単位での削減を目標とする。						
第一年度	排出量	6,119	t-CO ₂	生産数量	18.72	単位	千t
	削減率	13.51	%	原単位	326.87	t-CO ₂ /	千t
2020年度	調整後排出量	6,119	t-CO ₂	原単位削減率	-3.03	%	
	削減率	13.51	%				
排出量等の増減理由	総括票6の1に記載のとおり						
第二年度	排出量	7,253	t-CO ₂	生産数量	22.82	単位	千t
	削減率	-2.52	%	原単位	317.84	t-CO ₂ /	千t
2021年度	調整後排出量	7,253	t-CO ₂	原単位削減率	-0.19	%	
	削減率	-2.52	%				
排出量等の増減理由	総括票6の1に記載のとおり						
第三年度	排出量	6,576	t-CO ₂	生産数量	20.27	単位	千t
	削減率	7.05	%	原単位	324.42	t-CO ₂ /	千t
2022年度	調整後排出量	6,576	t-CO ₂	原単位削減率	-2.26	%	
	削減率	7.05	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	総括票6の1に記載のとおり						

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	355	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	310400	エネルギー消費原単位の管理	2020～ 2022	5	2020～ 2022	5
2	エネ起	320103	燃料の管理	2020～ 2022	30	2020～ 2022	15
3	エネ起	320104	バーナーの定期的な点検、清掃 及び整備の実施	2020～ 2022	10	2020～ 2022	7
4	エネ起	320101	空気比の設置業者による管理	2020～ 2022	10	2020～ 2022	8
5	エネ起	329999	リジェネバーナーの採用	2021～ 2022	700	2022	100
6	その他 ガス	その他	再生油の温度管理	2020～ 2022	10	2020～ 2022	7
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電設備	kW	448	0	448	448	448

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	6	3,729	6	3,499	6	3,980	6	3,692
合計	6	3,729	6	3,499	6	3,980	6	3,692

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	7,075	6,119	7,253	6,576
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	7,075	6,119	7,253	6,576

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	14	12	12	11
合計	14	12	12	11
自動車総数	47	47	48	48
次世代車導入割合	29.8	25.5	25	22.9

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	なし
自転車の利用促進	なし
来客者の交通対策	なし
物流の合理化	最短ルート設定、製品納入の復路で原料回収を行うなど、効率的な輸送体制を組んでいる。

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		2002
	名称	ISO14001	
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	社有林の保全		2019

1.5 自由記載欄

廃油（再生油）調達によるエネルギー使用量の削減。
 太陽光発電施設（売電用）の管理。
 廃棄物の削減。
 環境対応商品の拡販。
 社有林の保全。
 県内全事業所の事務所及び倉庫・工場の照明をLED化し、廊下や階段に人感センサーを設置。